

三笠市まち・ひと・しごと
創生総合戦略

〈重点プロジェクト〉

R2.4

***IMPORTANT
PROJECT***

三笠市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト

三笠市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中核となる事業を絞り込み本市の強みや独自性といった観点から「重点プロジェクト」として、次のように8プロジェクト17事業の展開を行います。

なお、基本目標の横断的な目標についても各重点プロジェクトを推進する位置づけとしております。



重点プロジェクト 1

① 食をテーマにした産業の構築

具体的事業	事業内容
高校生レストランをはじめとする食の街道づくり推進事業	高校生レストランの運営。レストラン群の展開。
高校生などを対象とする料理コンクール実施事業	民間企業などとの連携による高校生などを対象とした料理コンクール等を実施。
三笠特産品ブランド化事業	三笠の食材などの高付加価値化や観光産業への経済効果を高めるため、民間企業や農業者、商業者、三笠高校生とも連携し、特産品のブランド商品化に向けた新商品開発システムの構築を目指します。

<関連する重要業績評価指標>

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和3年度)
高校生レストラン入込客数	—	67,900人
食街道での開店店舗数	—	1店舗
料理コンクール実施回数	—	年2回
三笠特産品ブランド化研究会の発足	—	1組織

重点プロジェクト 2

② 地域資源を活用した地域循環型産業の構築

具体的事業	事業内容
地域資源循環型木質バイオマス利用事業	地域木材をエネルギー利用し地域での経済循環を図るため、まずは公共施設での導入を進めます。
石炭地下ガス化等活用研究事業	新たなエネルギー利用の方法として、地下の石炭層を燃焼し、抽出された可燃性ガスを利用するため、必要なデータ採取、実験などを行い、事業化を目指します。
抗内水の農業活用	抗内水の温水を農業利用する新たな事業展開を目指します。

<関連する重要業績評価指標>

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和3年度)
新エネルギー利用施設	—	2施設
石炭地下ガス化等活用研究事業進捗率	40%	40%

重点プロジェクト 3

③ ジオパークを核とした観光産業の構築

具体的事業	事業内容
三笠ジオパーク推進事業	平成 25 年度に日本ジオパークに認定され、地質遺産・産業遺産を一体化させて保全・整備し、新たな魅力発信により交流人口増加と観光振興を図ります。
観光交流センター整備事業	交流人口の増加につながるように、北海盆おどりなどを中心的な要素とした本市特有の観光資源に関する情報発信拠点施設の整備を目指します。
宿泊施設整備事業	交流人口の長期滞在による経済効果を図るため、宿泊施設の整備を目指します。
DMO 推進事業	三笠市版 DMO を形成することにより、持続可能な観光業の振興を図ります。

<関連する重要業績評価指標>

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和3年度)
交流人口 (道の駅・文化芸術振興促進施設を除く観光客)	246,443 人	269,248 人
道の駅三笠利用者数	678,000 人	872,000 人
観光交流センター整備事業進捗	10%	80%
文化芸術振興促進施設来場者数	—	43,575 人

重点プロジェクト 4

④ 産業の活性化と雇用機会の充実

具体的事業	事業内容
岡山地区活性化推進事業	工業団地の遊休地や開発が進んでいる岡山地区へ更に交流人口や定住人口につながる企業誘致等を進め、産業の活性化や雇用対策を推進します。

<関連する重要業績評価指標>

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和3年度)
工業団地立地率	81.5%	84.6%

重点プロジェクト 5

⑤ 移住者対策・関係人口の創出

具体的事業	事業内容
移住定住促進対策関連事業	若者世帯の転入及び定住の促進を図るため、民間賃貸住宅の家賃、住宅の新築や中古住宅の購入費用のそれぞれの一部を助成します。
地域おこし協力隊	地域づくり活動に意欲のある「地域おこし協力隊」を採用し、地域活性化を図るとともに、将来的に隊員には本市に必要な職種の後継者として定住してもらい人口増加に繋げることを目指します。
関係人口創出拡大事業	地域課題の解決や将来的な地方移住に向けた裾野を拡大するため、ふるさと三笠会やふるさと納税寄附者をきっかけとして、関係人口の創出・拡大を目指していきます。

<関連する数値目標>

指標	基準値	目標値（令和3年度）
地域おこし協力隊員数	—	33人

<関連する重要業績評価指標>

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（令和3年度）
若者移住定住促進住宅家賃助成事業活用世帯数	63世帯（累計）	143世帯（累計）
住宅建設等費用助成事業活用世帯数	21世帯（累計）	198世帯（累計）
住宅情報バンク新規登録数	18件	210件（累計）
学生受入数	—	15人

重点プロジェクト 6

⑥ 安心して結婚できるための支援

具体的事業	事業内容
結婚新生活支援事業	新婚世帯に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用に対して助成することで、若い世代の結婚、出産による人口増加を図ります。

<関連する重要業績評価指標>

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値（令和3年度）
結婚新生活支援事業利用世帯数	—	5世帯

重点プロジェクト 7

⑦ 冬を克服し生活できる環境整備の推進

具体的事業	事業内容
-------	------

ぬくもり除雪サービス事業	高齢者や障がい者が安心して冬を過ごせるよう、間口や屋根などを除雪するサービスを安価な料金で実施します。
冬快適プラン事業	市民が快適に冬を過ごせるよう、市内に存在するエネルギーの活用や従来型雪対策の改良を複合的に検討して策定した冬快適プランにより、必要な施設を整備・管理します。

<関連する重要業績評価指標>

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和3年度)
ぬくもり除雪サービス事業利用率 (降雪の影響が大きい緊急除雪を除く)	19%	20%
冬快適プラン事業進捗	—	1%

重点プロジェクト 8

- ⑧ 地域が最低限持続できる商店街機能の整備と子育て世代や高齢者が安心して集うことができるコミュニティの場の整備

具体的事業	事業内容
商業施設整備事業	市民が安心して生活できるよう、日常生活に不可欠な商業テナント及び多様な世代の市民が集うスペースを設置した商業施設を整備し、商業機能の充実を図ります。

<関連する数値目標>

指標	基準値	目標値 (令和3年度)
集積された商業地区	—	1 か所

<関連する重要業績評価指標>

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和3年度)
商業施設整備事業進捗	20%	60%